

愛知県内の性の多様性に関する団体・イベント

名古屋レインボープライド

「名古屋レインボープライド」はLGBTQを軸に、多様性を可視化し、権利や尊厳を求め「違いを認め合う価値観」を広げていきたいと思っています。世界中で行われている「プライドパレード」には、当事者はもちろん、企業や教育機関、行政、学生、家族連れなど、属性や立場を超えて多くの人々が参加しています。

私は私に誇りを持ち、あなたのプライドも大事に思う。そしてハッピーになれますようにという願いも込めて。

ホームページ <https://www.nagoyarainbowpride.com>



名古屋あおぞら部

「名古屋あおぞら部」は、10～30代のLGBTQ+当事者や当事者かもしれない人のための居場所です！高校生・大学生を中心に、LGBTQ+に関することや日常の出来事をみんなでのんびりおしゃべりしています。当事者を家族や友人に持つ人、ALLYやLGBTQ+について知りたい人の参加も歓迎しています。

開催予定は、名古屋あおぞら部のSNSまたはNPO法人ASTAのホームページでお知らせしています。

ホームページ <https://lit.link/aozora758>



Diversity EXPO

2017年にLGBTQ・ダイバーシティの取組をしている企業を紹介するジョブイベント「Working Rainbow EXPO」として名古屋で始まったイベントです。

2022年以降は「Diversity EXPO」として性の多様性だけでなく、病気、障がい、国籍、育児、介護など、イベントテーマを「D&I(ダイバーシティ & インクルージョン)」と広げて、イベントを開催。学生だけでなく、企業の取組に関心を持っている教育関係者やこれから取組を始めようと思っている企業関係者も参加可能です。

ホームページ <https://divercity-expo.com>



考えてみよう

性の多様性って なんのこと!?

LGBTとは



レズビアン

性自認が女性で恋愛・性的対象が女性の人



ゲイ

性自認が男性で恋愛・性的対象が男性の人



バイセクシュアル

恋愛・性的対象が男性と女性の両方の人



トランスジェンダー

出生時に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人

LGBT 以外にも



クエスチョニング

性的指向や性自認がまだはっきりしていない人



エイ・ア

Aセクシュアル

性的感情を抱かない人



エックス

Xジェンダー

性自認が男性・女性のどちらとも明確に認識していない人



パンセクシュアル

全てのセクシュアリティが恋愛・性的対象となる人



ヘテロセクシュアル

恋愛・性的対象が異性の人



シスジェンダー

出生時に割り当てられた性別と性自認が一致している人

ソジ、ソギ

SOGIとは

Sexual Orientation(性的指向)と Gender Identity(性自認)の頭文字からできた言葉です。誰もが持つ性のあり方を総称する概念のことを表します。

相談窓口

● 愛知県にじいる電話相談

電話番号：0120-241-612

受付時間：毎月第3月曜日 19:00～22:00(祝日も実施します)

● 豊橋市LGBT等性的少数者の面接相談

※予約制の面接相談のため、事前にWEBまたは電話予約が必要です

電話番号：0532-51-2188

受付時間：WEB 24時間・電話予約 平日 8:30～17:15

● 電話相談(フレンズライン)

※対象者：24歳以下の子ども・若者・そのまわりの人

電話番号：080-9062-2416

受付時間：毎週日曜日 17:00-21:00

(お休み：12/30～1/5)

● 名古屋市にじいる電話相談

電話番号：052-321-5061

受付時間：毎月第2金曜日 19:00～21:00(祝日も実施します)

● 名古屋市にじいるLINE相談

ID[667molvl]を友だち登録

二次元コードを読み取って友だち登録



● 岡崎市LGBT電話相談

電話番号：0564-23-7681

受付時間：毎月第3木曜日 17:00～21:00

● よりそいホットライン

電話番号：0120-279-338

受付時間：365日24時間対応

性の多様性のきほん

セクシュアリティを構成する要素

性的指向

どのような性別の人を恋愛・性的対象とするのか。異性に惹かれる人もいれば同性や両性に惹かれる人や他者に惹かれない人もいます。

生物学的性

身体的構造の性を指す。多くの場合、生まれもった外性器・内性器により判断されます。戸籍上の性別は、この生物学的性に基づいて出生時に割り当てられたものです。

性自認

自分自身の性別をどのように認識しているか。出生時に割り当てられた性と同性自認を持つ人もいれば異なる性自認を持つ人もいます。

性表現

服装、しぐさ、言葉づかいなどをどのように表現するのか。性自認・生物学的性と同性表現を持つ人もいれば異なる人もいます。

性的少数者の割合

ある調査によると日本の人口の約3~8%(*)が、LGBT等の性的少数者と言われています。性的少数者に該当する人の統計データは、調査方法や性的少数者の定義にばらつきがあるため、結果に違いがみられます。ここで大切なのは、性的少数者の人たちはあなたの身近に当たり前にいるということです。

LGBT2.6%・LGBT3.5%・LGBTQA8.8%

*参考：厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所「性的指向と性自認の人口学の構築—全国無作為抽出調査の実施」研究チーム「家族と性と多様性にかんする全国アンケート」(2023)より

豆知識

レインボーカラー

「赤、橙、黄、緑、青、紫」の6色で作られるレインボーカラーは、性の多様性への理解や共感を表すシンボルとして世界中で使われています。

ALLY(アライ)

ALLY(アライ)とは英語の「同盟、支援」を意味する「ally」が語源で、性的少数者の理解者・支援者のことです。自分自身が性的少数者であるかどうかに関係なく、性の多様性を理解し当事者が何か困ったときに頼ったり相談できたりする「味方」のような存在です。

カミングアウトを考えたとき

友だちや家族、学校の先生など、信頼できる人にカミングアウトしたくなったときは、事前に2つのことを考えましょう。自分自身の伝えたい内容を整理しておくと話がしやすくなります。

①知っておいてほしい理由

なぜ大切な話をするのか、知っておいてほしい理由を伝えましょう。

- 話を聞いてほしい
ありのままの自分を受け入れてほしい。
友だちに恋愛相談をしたかった。
- 困りごとがある
具体的な悩みごとの相談をしたい。
自認する性の制服を着て登校したい。

②カミングアウトの範囲

いま話した内容は誰までが知っているのかを伝えましょう。

悪気なくよかれと思って他の人にあなたのことを話してしまう人がいるため、自分がカミングアウトしている人の範囲や第三者に知られたくない理由がある場合は必ず伝えておきましょう。

自分のタイミングが何よりも大切!!

カミングアウトは必ずしないといけないものではありません。カミングアウトをしない自由もあります。自分のセクシュアリティを誰にも伝えず大人になり、暮らしている人は沢山います。あくまでもカミングアウトはひとつの手段でしかありません。あなた自身が聞いてほしいと思う人に出会い、「いまだ!」と思ったときがカミングアウトのタイミングです。

カミングアウトとアウティング

カミングアウト

本人自身の口から、性のあり方を家族や友人、周囲の人などに打ち明けることをカミングアウトといいます。いつ・誰に・何を・どこまでカミングアウトするかは、本人の意思で決めることです。カミングアウトしない自由もあるため、他の人が無理に強要することはあってはなりません。

アウティング

本人の同意がない状態で性的指向や性自認を第三者に暴露することをいいます。たとえ悪意がなかったとしても、本人にとっては「自分の居場所がなくなるかもしれない」と思うほどに、不安になってしまうことです。「この人には話そう」「この人には話さないでおこう」と伝える範囲を慎重に選んでいるため、アウティングは絶対にやめましょう。

こんな場面あなたならどうしますか?

Q カミングアウトを受けたとき、どうしたらよいですか?

A 友だちの気持ちを大切に、話をしっかり聞きましょう。

Q 性的少数者に対する、差別的発言を見かけたら?

A みんなと一緒に笑わない、同調しない。よくないと伝える勇気も必要です。

カミングアウトは、本人にとって非常に勇気のいることです。相手を選んで打ち明けるケースが多く、あなたを信頼して打ち明けてくれています。まずは、「話してくれてありがとう。」と肯定的に受け止めましょう。話してくれたことへの感謝を伝えるとともに、具体的な相談がある場合は、本人の希望を聞いて何が自分にできるのか話し合しましょう。また、アウティングを防ぐためにも、誰に打ち明けているのか、誰になら話してもいいかを確認しましょう。

性的少数者の割合については、さまざまな調査結果がありますが、あなたの身近にも当たり前にいます。差別的発言に傷ついている人があなたの側にいるかもしれません。性的少数者に対するからかいや差別的発言を見かけたときには、みんなと一緒に笑わない、同調しないというだけでなく、よくないと伝える勇気も時には必要となります。その場で声をあげることが難しいときは、話題を変えてみましょう。

今日からできる3つのアクション

「らしさ」「性」を決めつけない

セクシュアリティを決められるのは本人だけです。見た目や自分の価値観で「らしさ」「性」を決めつける行為は、その人を苦しめることにつながります。また、性はグラデーションのように多様で、はっきりと分けることはできず、移り変わってよいものです。相手が感じたことを否定したり笑ったりせず、ありのままに受け止める姿勢が大切です。

知識をアップデートする

正しい知識を身につけることで、無意識に人を傷つけることがなくなり、ALLY(アライ)として行動できることが増えます。インターネットや書籍、映画などから、性の多様性についての情報を集めることもできます。性の多様性への理解を深め、ALLY(アライ)の輪を広げていきましょう。

言葉の使い方を意識する

たとえ発言した人に悪意がなくても、差別的な言動に傷つく当事者がいます。性的少数者は、身近に「いない」のではなく「言っていない」ことがほとんどです。自分には関係ないと思わず、誰かが自分の言葉を聞いているという感覚を持ちましょう。「レズ・ホモ・オカマ・オナベ」といった言葉は差別的な意味を持ち、不快な気持ちになる人がいます。「レズビアン・ゲイ・トランスジェンダー」と略さずに使う、「彼氏・彼女」は性別を問わない「パートナー・恋人」など言葉を使い換えてみましょう。